

1 部局名

大学教育センター

2 学長指定課題

低年次学生が大学での学びの方法を身に付けることをサポートするプログラム

3 事業名

低年次学生を対象とした主体的学習支援事業の実施

4 事業実施代表者名

大学教育センター長 山下 英明（兼 成果報告）

5 事業の概要

本事業では、「主に学部1、2年次生に向けた大学での学習方法、学習成果の周知、主体的学習力育成」に向けた取組を行う。主に低年次の学生を対象として、大学での学びの方法や目的を理解させるとともに、汎用的な能力を直接育成するプログラムを実施し、大学での学びに対応できるよう導入を行う。これらの取組は、教養的、専門的知識等を教授するものではないため課外プログラムとして実施する。実施予定プログラムは以下のとおり。

テーマ【主体的学習力育成】

大学での学び方、学習計画作成法、質問力養成、授業外学習法など

テーマ【論理的思考力育成】

考える力養成、論理的決定力養成、批判的思考力養成など

テーマ【チーム学習力】

コミュニケーション力育成、メンター養成、議論と対話法、協働作業実践など

テーマ【文章力】

ノート・メモの取り方、文章作成基礎、考えを深くする言語力養成など

6 事業の成果

本事業の実施に当たっては、平成26～28年度までの3年間一貫して、「大学での学び」は高校までとどのように違うのか、試験やレポートにどのように取組めばよいのかなど、大学生活をスタートさせたばかりの学部1年生を主な対象として学習習慣や学習方法に関するアドバイスをを行い、今後の大学生活において、自ら課題を設定し、その課題に対して主体的に取り組む学習姿勢を身に付けさせることを目指した。

3年間を通しての開講講座数及び参加人数の実績は下図のとおりである。平成27年度については、開講講座数を前年度の5から3に減らしたことなどにより参加人数が減少したが、平成28年度については、5の取組成果で示した見直し等により、3年間で最も高い参加者数となった。

参加者に実施したアンケートについては、いずれもセミナーを受講して期待した成果が得られたかとの質問の回答に関して、5段階評価で4以上の平均値が得られており、事業の取組状況に対する認識は、ほぼ予定どおり実施されたものとして捉えている。

ただし、本事業が任意参加による正課外での教育プログラムであり、入学者全体の数に対する本事業のセミナー参加者の割合が決して高くないことから、参加者の多くは、ある程度「大学での学

び」について関心を持ち、より良い大学生生活を送ろうと考えている比較的モチベーションの高い学生であったことが推測される。

従って、本来のターゲットとして想定していた、大学生活や大学での学習に対して不安や悩みを抱えている学生、成績が伸び悩んでいる学生を十分に取り込むことができなかった点については、今後の課題として挙げられる。この点に関しては、正課の授業における初年次教育のあり方も含めて、今後も引き続き検討していく必要がある。

